



小さな親切入賞作品紹介

校長 玉田 浩

「小さな親切」作文・標語コンクールにおいて、作文小学生の部で、本校第6学年の増山望美さんの作品が県の優秀賞（県コミュニティ協会長賞）を受賞しました。おめでとうございます。たいへん素晴らしい作品ですので、皆様にも紹介したいと思います。

あいさつを伝える気持ち

栃木市立栃木中央小学校 6年 増山望美

私は今、毎日できるだけたくさんの人とあいさつをしよう、と心がけています。でも、以前の私は、そうではありませんでした。

小学校に入学してからの私は、1年生のときからずっと、そして5年生になってからも、なんとなくあいさつをしていました。校長先生は、始業式などの話の中で、

「感謝の気持ちをこめて、あいさつをしましょう。」

とおっしゃっていたのですが、それを意識することはほとんどありませんでした。自分にとってあいさつは、人の心を大きく動かしたり、えいきょうを与えたりするようなものではない、と思っていました。

毎朝、登校中に会う交通指導員さんや、地域の方へのあいさつを忘れてしまうこともありました。されたらする、されなかったらしない、という感じでした。私にとってあいさつは、そのときの気分で言っているだけのもので、大切なものだと考えていたわけではありませんでした。ただ、なぜかは分かりませんが、あいさつをしそびれてしまったときに、どこかモヤモヤすることもありました。

私は登校するときに、いつも西門前の横断歩道をわたります。そこには毎日、交通指導員さんが立っていました。ある日の朝、すっきり起きられずに頭がボーッとしていて、あいさつをする気になれなかった私は、交通指導員さんの前を無言で横断しました。心の中では、明るいあいさつをしよう、とだけ考えていました。

でも、その日を境に、交通指導員さんは、西門前に立たなくなりました。そして、校長先生や教頭先生が立つようになりました。その後、

「西門前に立ってくださっていた交通指導員さんが、お亡くなりになりました。」という話がありました。

とんでもなく、胸がしめつけられるような感じになりました。私の心は、行き場もなく、ふわふわとただようような感じになり、同時に強い後かいの思いがこみ上げてきました。どうしてあのとき、「今日はいいや。」と思ってしまったのだろう。どうして、「眠くてあいさつをする気になれない。」などという理由で、あいさつをしない自分を納得させたのだろう。私はやっと、どうしてあいさつをしなくてはならないのかが、分かった気がしました。

あいさつとは何か？それは、人それぞれちがうと思います。私にとってのあいさつは、「ありがとう」「がんばろう」などの気持ちを伝え合うものだと思います。大切なのは、私自身の気持ちをこめること。まだまだ自信はありませんが、「自分から」「笑顔で」たくさんの人と気持ちを伝え合うために、^{がんば}顔晴っていきます。後かいしないために…。

朝、校門の前で子どもたちを迎えると、こちらに笑顔向け「おはようございます」と元気なあいさつをしてくれる子がたくさんいます。そんな子には、元気をもらったお礼に「今日もいい一日でありますように」と、心の中でそっと祈っている毎日です。

歴史展示コーナーを整備

昇降口を入ってすぐ、吾一広場に向かって右手に放送室があります。その後ろの奥まった場所が「歴史展示コーナー」です。創立10周年を記念し、この度このコーナーを整備しました。栃木第一小・第二小の137年の歩みと本校10年の歩みを沿革史としてまとめ、パネルにして掲示してあります。夏休みには、静和公民館に保管してあった一・二小の古い備品などを運び出しました。今後、展示ケースなどを整え、これらを展示し、子どもたちにも見たり手に取ったりできるようにして行く予定です。学校にお越しの際は、ぜひご覧ください。



ぜひ御覧ください

無事に開催「持久走大会」

11月13日(水)、



最後までもつれるレース

校内持久走大会が実施されました。台風の影響で校庭の状態も心配でしたが、先月の内に使用できるようになり、今日を迎えることができました。本番に向け、子どもたちは体育や業間の時間、一生懸命練習に取り組んできました。当日は各学年とも、練習の成果を十分に発揮し、記録更新を目指して最後まで頑張りました。多くの保護者の皆様にも御覧いただき、たくさんの応援や仲間の声援が、何よりの力になっていたようです。また、大勢のボランティアの方にお手伝いいただき、事故なく無事に実施できました。たいへんありがとうございました。子どもたちには、苦しいことにも負けずに最後まで粘り強く取り組む力があることを、改めて見せてもらいました。この力を、これからも様々な場面でも発揮できるよう期待します。



自己ベストを目指して

公開研究発表会



子どもは真剣・先生も真剣

本校は、栃木市教育委員会から指定を受け、「一人一人が生き生きと学び、どの子ども『分かる』を実感できる授業の在り方」の研究に取り組んでいます。11月15日(金)には公開研究発表会を実施し栃木市内外から大勢の先生方が参観され、1年国語・4年国語・6年理科の3授業を見ていただきました。全員が学びやすい環境・それぞれの特性に応じた支援により、今日の学びがそれぞれに価値のあるものにしていけるよう研究していきます。

教育実習

11月18日から22日までの5日間、佐野日本大学短期大学(2年)と高崎健康福祉大学(1年)から、2名の学生さんが教育実習生にきました。2人とも、将来は保育園や学校など子どもと関わる職業に就くことを



授業を真剣に観察



緊張の授業実践

目指しています。大勢の先生方から話を聞いたり、実際に授業をしてみたりとたくさんの学習がありました。しかし、何と言っても子どもたちとの触れ合いが何よりの学びになったのではないかと思います。

市理科研究展覧会・発表会

11月22日(金)に、栃木市理科展中央審査がありました。本校からも作品を多数出品しました。

夏休みにじっくり取り組んだものや理科部で長期間にわたって実験や観察を続けてきた作品です。多くの作品が立派な成績を収め、1月に開催される下都賀地区の審査に進むことになりました。下地区審査出品作品は以下のとおりです。

【展覧会の部】

- 1年 すうばあでみつけたたねは めがでるの？
- 4年 花の成長
- 5年 アメンボのひみつ

【発表会の部】

- 5年 糸電話の研究Part2



校内人権週間「人権集会」

栃木中央小では11月25日(月)～

11月29日(金)を人権週間として、人権に関する取組を行いました。体育館が使えないため、人権集会は各教室で校内放送で行いましたが、各教室では人権についてのスライドショーを見たり、人権に関する作文朗読を聞いたりしました。また、この週間中に人権に関するビデオ鑑賞などを実施し、一人一人の人権が尊重された、みんなが安心して生活できる学校づくりのため、一人一人が人権について考えるための指導を行いました。いじめや虐待、職場などでの各種ハラスメント、インターネット上での誹謗中傷など、不当に人権が侵害される事案が後を立ちません。人権問題についての正しい知識と、それらを解決し人権が尊重された社会を築いていこうとする意欲と実践力を高めていくことが大切です。



12月

主な行事予定

- 2日(月) 家族授業参観振替
- 5日(木) 栃木市駅伝交歓会
- 9日(月) 中学校入学説明会



- 11日(水) 表彰朝会(各クラスごと)
- 12日(木) 学期末5時間(～24日)
- 25日(水) 第2学期終業式
- 26日(木) ～冬季休業(1/7まで)

